

令和6年度第2回

富士見市公民館運営審議会(鶴瀬地区)

議事録

日 時	令和7年3月26日(木)	開会	午前9時30分			
		閉会	午前11時30分			
場 所	鶴瀬公民館 第2集会室					
出席者	委 員	小林委員	小谷委員	石谷委員	黒澤委員	
		○	○	○	○	
	事務局	鶴瀬公民館				
公開・非公開	公開(傍聴者なし)					
議 題	<ul style="list-style-type: none">・協議事項<ul style="list-style-type: none">(1) 令和6年度鶴瀬公民館事業評価について(2) 令和7年度の取組について<ul style="list-style-type: none">・協議テーマ(仮)『若い世代のとりこみ』に関する、鶴瀬公民館での取組について・その他					

議 事 内 容

・ 開会

・ あいさつ（鶴瀬地区代表員、鶴瀬公民館長）

・ 協議事項

（１） 令和６年度鶴瀬公民館事業評価について

→事務局から説明の後、公運審委員の意見欄の記入、担当について確認した。

（２） 令和７年度 of 取組について

・ 協議テーマ（仮）『若い世代のとりこみ』に関する、鶴瀬公民館での取組について

→上記に関してこれまでの経過等についで事務局から一括して説明

事務局：eスポーツの展開が、増進の取り組みで鶴瀬公民館会場の予定。

委 員：健康増進センターから聞いたことがある。

委 員：和光市でコロナ前の令和元年度あたりで、体験したことがある。大きい画面でゲームがしたいところからスタートしていた。鶴瀬公民館でもホールを活用して大会などしても面白いかもしれない。

委 員：スマホも学ぶとあるが、どういう意図か。

事務局：健康増進センターではパワーアップ体操やフレイルチェックに続き、高齢者の多種多様な興味から、外に出るきっかけのジャンルとして今回eスポーツを展開していると聞いている。スマホを学ぶのは、そういった開催している情報は紙で得られない場合がだんだんできてきている。広報の続きをQRコードで読み取るなど。そこで取り残されないためにスマホも学ぶ、という意味もあると聞いている。

委 員：eスポーツは若い世代の取り込みということにつながるのでは。

委 員：インベーダーゲームが流行していたころにやっていた高齢者もいると思うので、やりたい人はいるのではないか。

事務局：昔の流行で多世代交流になっている例はある。20代後半～30代男性が小学生時代に流行していたのが、現代版のコマ回しであるベイブレードというおもちゃ。水谷公民館と南畑公民館でサークル登録がある。鶴瀬公民館区では、鶴瀬小学校の地域子ども教室わくわくクレインキッズで、ベイブレードが遊び道具の1つとして取り入れられている。報告書には、「今までベーゴマを用意したこともあったが、紐を巻くのが難しく、子どもたちの間で人気があるベイブレードを代わりに用意した。子どもたちが殺到してしまい、ルールをきちんと説明し、順番を守って遊んでもらう必要があると反省会で意見が出た。」とあるような人気ぶりが伺える。このような、再ブームをきっかけとした、当時の世代と今の子ども、といった交流が望めるかもしれない。

委 員：eスポーツを進める方向でよいか。増進センターの鶴瀬公民館会場4回講座のあとの展開について、今後、5月から6月あたりで地区公運審を開き、検討していきたい。そのために、事務局と健康増進センターで調整し、4回講座の日程を早めに決めるようお願いしたい。

・その他 (特になし)

・閉会